

平成 25 年度 岡山大学大学院法務研究科

法学既修者前期入試 試験問題

公 法 系（憲法、行政法）

解答上の注意

1. この問題冊子は、表紙を含め 2 枚である。
2. 問題には、問題 1 と問題 2 がある。配点は、問題 1 が 50 点、問題 2 が 50 点である。
3. 表裏に解答欄がある解答用紙は、問題 1 用と問題 2 用の 2 枚が配布されている。各問題ごとに解答用紙 1 枚を使って解答すること。
4. 解答用紙の受験番号欄に受験番号を算用数字で記入し、また試験科目欄に「公法系」と記入すること。なお、整理番号等その他の記入欄には記入しないこと。
5. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。
6. 解答の際は、黒又は青のボールペンを使用すること。
7. 試験終了後、解答用紙と貸与した六法を回収するので、指示があるまで席を立たないこと。
8. その他は、すべて監督者の指示に従うこと。

【問題1】(解答の冒頭に「問題1」と記入すること。)

①国会の両議院の規則と法律との関係および②最高裁判所規則と法律との関係について論じなさい。

【問題2】(解答は、【問題1】を解答した用紙とは別の解答用紙に書き、冒頭に「問題2」と記入すること。)

違法な行政行為の取扱について論じなさい。

《公法系問題 以上》

【出題意図】

問題 1

本問は、憲法上自律性・独立性が保障された機関の自主規則制定権と法律との関係という基本的な論点について問うことで、基礎的な知識の有無を測ることを目的としていた。

問題 2

行政法総論から、基本理論に関する基礎的な理解について問うた。